



地歴(地理)科学習指導計画案

指導教員 _____

・日 時 平成 13 年 6 月 13 日 (水曜日) 第 1 時限 実習生 _____

・学 級 3 年 CD 組 場所 社会科教室

・大 単 元 第 1 章 産業活動と地域の発展 中 単 元 第 4 節 工業地域の形成と変貌 小 単 元 世界の工業地域の形成

・本時の指導目標 世界の主要な工業地域を概観し、変容を考察させる。

・本時の留意点 世界の主要な工業地域を把握させ、特にドイツ・フランスの工業地域の立地の特色を理解させる。

・準備教材 ・教員(筆記用具、教科書、プリント(配布用))

	指導項目	指導内容	学 習 活 動		指導上の留意点	時間
			教師のはたらきかけ	生徒の学習活動		
入	復習	前時の「工業の立地と変容について」の おさらい	生徒を指名する。	教科書 P181 を 読ませる。		5 分
本	世界の工業地域の 分布	世界の主要な工業地域について、 〔西ヨーロッパ アメリカ合衆国 ロシア アジア(日本・中国・東南アジア・インド)〕 のそれぞれの工業地域の立地変容	板書・説明。 生徒を指名する。	教科書 P182 図 「世界の主要工業地域」 を見て把握させる。 教科書 P182 「工業地域の分布」 を読ませる。		25
時	西ヨーロッパ 工業地域 ・ドイツ ・フランス	ドイツ・フランスの工業地域について 詳しく説明。 ・ドイツ ルール・ザール炭田という資源 が豊富で、西ヨーロッパ最大の 工業国であり、場所によって どのような工業が立地しているか。 ・フランス 内陸部に分散して工業地域が みられたが、近年、臨海地域に 工業地域の形成がみられる。	プリント配布。 略図の板書 ⇒ 注目させる。 立地場所から 主要都市などの ような工業が発展 しているか各図に 書き込む。	⇒ 注目させる。 黒板を写しながら 場所を理解させ、 プリントを読ませる。 ⇒ 注目させる。 黒板を写しながら 場所を理解させる。	ドイツの資料書を 参考にして、生徒 に理解・イメージ させる。 フランスの写真を 参考に提示する。	20 15 分
結	まとめ	工業の立地は近年、交通の便利な 場所(臨海など)に変化している。				5 分
考						